

健康通信

腎移植について



腎移植センター部長医師
上平 修

少し、全体で見れば腎移植に関しては殆ど変化ないのが実情です。

最近、日本人の命の終え方が変わったと感じます。以前は50歳台、60歳台で脳卒中が原因で亡くなる方が多かったのですが、現在、日本人の死因第1位は癌であり、70歳を超えて癌で亡くなる方が多くなりました。癌で亡くなった方の臓器はいただけませんし、脳卒中でも70歳、80歳の方の場合はよほど条件が良くないと移植を行う私たち自身が躊躇してしまいます。これも腎移植が増えない原因ではないかと思えます。第3の方法である修復腎移植の芽が摘まなかった厚労省の気持ちもわかるのですが、献腎希望者のわずか1%しか望みが叶えられない現在、革新的な変化が起こらない限りこの状態は続きそうです。

で特定の病院に限り先進医療として一部の医療を保険適応にすることを認めました。これは数年後に修復腎移植が通常の移植認定施設で保険医療として認められる可能性があることを示しています。

では、この10年で移植をめぐる環境はどのように変わったのでしょうか？

臓器移植法案が施行された後もなかなか移植が増えないことから、2010年にその改正が行われました。本人の意思が不明な場合でも家族の同意で移植できるようになり、15歳未満の子どもの臓器提供も可能となりました。しかし、改正後、脳死下提供は増えたものの心臓死からの提供は減

問題です。

information

お知らせ

市民病院職員募集

◆薬剤師

採用予定人数 2名程度

受験資格 薬剤師資格取得者

対象 平成元年7月2日以降に生まれた方

◆理学療法士

採用予定人数 2名程度

受験資格 理学療法士資格取得者で理学療法士としての職務経験が、平成30年2月末までに通算して5年以上ある方

対象 昭和33年7月2日以降に生まれた方

◆胚培養士 (エンブリオリスト又は胚培養士)

採用予定人数 1名程度

受験資格 「認定臨床エンブリオリスト」または「生殖補助医療胚培養士」である方かつ、専門病院、専門クリニック等で生殖医療に関連した職務経験が、平成30年2月末までに通算して5年以上ある方

対象 昭和33年7月2日以降に生まれた方

【共通のご案内】

勤務開始日 平成30年7月1日採用

提出書類 ①採用試験申込書(写真貼付)

②資格免許証の写し

③理学療法士及び胚培養士の応募者については自己PR書(A4サイズ用紙2枚 書式不問)

試験 1次試験 4月15日(日)午前8時30分集合

2次試験 5月中旬に面接

※採用内定者については、後日健康診断を実施します。

試験会場 小牧市民病院8階大会議室

申込期限 3月30日(金)までに病院総務課

(郵送の場合は3月29日(木)消印有効)

問合せ先 病院総務課 ☎485・8520

住所不要 ☎76・4131

※詳しくは募集案内(病院総務課、市民病院ホームページ)に留意をご覧ください。

